

平成31年度

鹿児島大学大学院教育学研究科
学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）
[教職大学院]

学生募集要項

鹿児島大学大学院教育学研究科

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号
電話 099-285-7713

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）

<概要>

教育学研究科学校教育実践高度化専攻（以下、教職大学院）は、その設置理念として、①教科や教職についての基礎・基本を踏まえた理論と実践の往還による教員養成の高度化、②教科指導、生徒指導、学級経営等の職務を的確に実践できる力を育成するための対応、③「学び続ける教員像」の確立、④大学での「養成」と教育委員会での「研修」といった「分断」ではない新たな体制づくり、⑤自らの実践を理論に基づき省察するための現職研修の新たな取り組み、⑥学校支援に関わる関係者をはじめとする広く社会全体の力を結集した取り組みに加え、⑦「アクティブ・ラーニング」への転換を踏まえて、教員の資質向上を図り、また他の教員と効果的に協働したり、学校管理職として、教育行政職として、先輩教師として、あるいは同僚教師として、「チーム学校」を協働的かつ効果的に組織・運営することのできる教員の養成を掲げています。

これらの設置理念を踏まえ、本学の教職大学院は、実習科目を重視します。実習科目それぞれに特色を持たせるとともに、本専攻のすべての授業科目が個々の実習と有機的に関連し合うカリキュラムを編成します。具体的には、5領域からなる共通科目（教育課程の編成、実践的な指導方法、生徒指導・教育相談、学級・学校経営、学校教育と教員）と、選択科目（組織経営、学校研究、指導法深化）をつなぐ形で、実習科目を配置します。実習科目は、鹿児島県の小中学校の4割以上が離島へき地にあり複式学級や少人数単式学級が多く存在する現状を踏まえ、本学部附属小・中学校での実習だけでなく、離島の小規模校に赴いての実習も行います。また、鹿児島県においては、特別支援学校が設置されていない離島が多く、通常の学級における特別支援教育のニーズは極めて高いこともあり、本学部附属特別支援学校等での実習も行うことができるようになっています。これら実習での体験を中心に、共通科目や選択科目では、学生個人の教職における課題だけでなく、鹿児島県の学校を中心とした現場の課題を設定し、解決のための方策を探究していきます。これらの科目では、アクティブ・ラーニングの視点から授業改善やカリキュラム・マネジメントを考えたり、英語や道徳、ICT、特別支援教育などの諸課題に対するチーム学校としての対応力を高めたりできる資質や能力を身に付けたりできます。

これらの学びの中で「省察する力」や「コミュニケーション能力」の高度化が実現できる系統的・横断的な教育課程を編成していきます。

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

1. 求める人材像

教育学研究科学校教育実践高度化専攻では、次のような人材の入学を期待しています。

- ・ 学士としての確かな基礎学力と教職における基本的な知識・技能を有し、教育職員一種免許状を有している人、または取得見込みの人
- ・ 教師としての明確な問題意識・関心を持ち、幅広い教養と柔軟な思考力を持つ人
- ・ 教職実践力を高める上で必要な、「コミュニケーション力」「指導力」「協働力」を有している人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- ・ 学士レベルの基礎学力と教職における基本的な知識や技能
- ・ 教職や学校現場の諸課題に関心を持ち、多様な観点から考えられる力
- ・ 様々な他者とコミュニケーションをしたり、協働したりできる力

3. 入学者選抜の基本方針

本専攻の入学者受入方針にしたがい、入学者選抜に際しては、小論文及び口述試験を課し、入学希望者の資質と能力を多面的に総合評価します。

1 専攻及び募集人員

専攻名：学校教育実践高度化専攻

募集人員：16 人

2 出願資格

次の(1)から(10)のいずれかに該当する者で、かつ、教育職員免許法に定める幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭の普通免許状（一種）を有する者又は平成 31 年 3 月までに取得見込みの者

- (1) 大学を卒業した者又は平成 31 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年（2019 年）3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (8) 平成 31 年 3 月末現在において、大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者（注）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 4 月 1 日までに 22 歳に達する者（注）
- (10) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（注） 上記の(8), (9)により出願しようとする者には、事前に個別の入学資格審査を行いますので、平成 30 年 8 月 21 日（火）17 時まで必要書類を提出してください。なお、事前審査申請書は、教育学部教務係へ請求してください。

その他出願資格について不明な点は、教育学部教務係に問い合わせてください。

3 出願手続

(1) 出願方法

出願期間：平成 30 年 10 月 3 日（水）～10 月 15 日（月）

ア 9 時から 17 時まで受け付けます。（土曜日・日曜日・祝日は除く）

イ 郵送の場合は「書留速達」とし、10 月 15 日（月）16 時までに必着ですので、郵便事情等を考慮して早めに発送してください。

提出先：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 20 番 6 号

鹿児島大学教育学部教務係 電話 099-285-7713

(2) 出願書類等

| 書 類 等 | 提出該当者 | 適 用 |
|--|---------------------------|---|
| 入 学 志 願 票 | 全 員 | 本学所定の用紙による。 |
| 受 験 票 ・ 写 真 票 | 全 員 | 本学所定の用紙による。 |
| 入 学 検 定 料 (30,000 円) | 全 員 | 別添の振替払込用紙を使用して、郵便局の受付窓口から検定料を払込むこと。(A T Mでの払い込みはできない。) また、出願の際、「検定料振替払込受付証明書 (お客さま用)」を、日付印欄の押印を確認の上、所定の台紙に必ず貼付したものを提出すること。 なお、既納の入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ①払込んだが出願しなかった場合 ②誤って二重に払込んだ場合 |
| 成 績 証 明 書 | 全 員 | 出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの |
| 卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書 | 全 員 | 出身大学長又は学部長が作成したもの。 |
| 学 位 授 与 証 明 書 又 は 学 位 授 与 見 込 証 明 書 | 出 願 資 格 (2) に 該 当 する 者 | 学位授与機構が作成したもの。 |
| 教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書 又 は 教 育 職 員 免 許 状 の 写 し | 免 許 状 を 有 する 者 | 免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。 |
| 教 育 職 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書 | 免 許 状 取 得 予 定 見 込 みの 者 | 出身大学長又は学部長が作成したもの。 |
| 学 修 計 画 書 | 全 員 | 本学所定の用紙による。 |
| 身 分 証 明 書 | 外 国 人 志 願 者 | 日本に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を、その他の者はパスポートの写しを提出すること。 |
| 受 験 承 諾 書 | 現 職 教 員 | 本学所定の用紙により、所属長が作成したもの。 |
| あ て 名 シ ー ル | 全 員 | 本学所定の用紙による。 |
| 受 験 票 等 返 信 用 封 筒 | 全 員 | 封筒 (長形 3 号) に 362 円分の切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を明記したもの。 |

(注) 1. 外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

2. 出願書類等により志願者から提出された個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律 (個人情報保護法) に則り、本学入学者選抜・合格発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導等、授業料の債権管理を行うためにのみ利用し、他の目的には利用しません。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受け付けられませんので、十分点検して提出してください。なお、不備書類は返却します。
- ② 入学許可の後においても提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

(4) 受験票発送日

平成 30 年 10 月 17 日（水）

4 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験〔小論文、口述試験〕によって行います。

学力試験科目

1. 小論文 アドミッション・ポリシーの＜求める人材像＞に掲げた 3 点を踏まえ、今日的な教育課題の中から出題します。
2. 口述試験 出願時に提出される学修計画書の記載内容などに即し、アドミッション・ポリシーの＜求める人材像＞に掲げた 3 点を踏まえ、出題します。

5 学力試験の日程 平成 30 年 10 月 27 日（土）

○試験時間割

| | 10:00～11:30 | 12:50～ |
|-------------|-------------|--------|
| 学校教育実践高度化専攻 | 小論文 | 口述試験 |

※ 小論文及び口述試験の配点は、それぞれ 100 点です。

6 合格発表

平成 30 年 11 月 9 日（金）10 時

教育学部の掲示板および教育学部ウェブサイト(<http://www.edu.kagoshima-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

7 入学手続

合格者には、合格通知書とは別に入学に際し必要な書類を平成 31 年 2 月中に送付します。

- (注) 1. 入学手続き終了後、平成 31 年 3 月 29 日（金）17 時までに入學辞退の意思表示をした場合は、納付した諸会費等（教育学部後援会会費、学生教育研究災害障害保険料等）を返還します。
2. 納入した入学科は、いかなる理由があっても返還いたしません。

8 納付金

入学料 282,000 円（予定額）
授業料 前期分 267,900 円（予定額）
（年額 535,800 円）（予定額）

入学料、授業料に改定があった場合は、改定後の金額が適用されます。

- （注）1. 鹿児島県教育委員会から推薦される現職教員学生については、2年次の授業料の半額免除の制度があります。（8 頁，15 参照）
2. 上記 1 以外に全学生を対象に、入学料、授業料の免除申請の制度があります。
3. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。

9 障害を有する入学志願者の事前相談

本専攻に入学を志願する者で、障害（次表参照）又は発達障害がある場合は、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、事前に本研究科に相談してください。

| 区 分 | 障 害 の 程 度 |
|-------------|--|
| 視 覚 障 害 者 | 両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも |
| 聴 覚 障 害 者 | 両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも |
| 肢 体 不 自 由 者 | 1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも |
| 病 弱 者 | 1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも |

（注）学校教育法施行令第 22 条の 3 の規定に準拠した。

(1) 相談時期

相談の内容によっては、本研究科の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともありますので、平成 30 年 9 月 21 日（金）までに相談してください。

(2) 相談方法

電話又は本研究科窓口での相談のいずれでも構いませんが、下記事項等を記載した相談書（様式任意）を提出していただく場合があります。

- ①氏名、生年月日
- ②障害の種類、程度（医師の診断書が必要な場合があります。）
- ③受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④大学等在学中にとられていた特別な配慮

- ⑤日常生活の状況
- ⑥本人の現住所及び電話番号
- ⑦その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

(3) 問い合わせ先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目20番6号

鹿児島大学教育学部教務係 電話 099-285-7713

10 学位

本専攻の課程に2年（標準）以上在学し、本専攻で定めた授業科目47単位以上を修得した者（ただし、教職経験歴に基づき実習科目の一部を免除（上限5単位）された者においては、47単位から免除された単位を減じた単位数以上を修得すること）は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻を修了したものと認定され、「教職修士（専門職）」の学位が授与されます。

11 研究成果報告書の提出

本専攻の課程を修了しようとする者は、「教職課題研究Ⅰ」ならびに「教職課題研究Ⅱ」において、自身が設定した研究テーマに基づき進めてきた学修ならびに探究の成果を「研究成果報告書」としてまとめ、提出する必要があります。なお、「教職課題研究Ⅱ」は、当該「研究成果報告書」の提出と研究発表による審査を経て単位の認定が行われます。

12 教育職員免許状

本専攻において取得できる専修免許状は次のとおりです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有する必要があります。

| 専攻 | 教員免許状の種類 | 免許教科 |
|-------------|-------------|---|
| 学校教育実践高度化専攻 | 小学校教諭専修免許状 | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、情報、農業、工業、英語 |
| | 幼稚園教諭専修免許状 | |

13 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

現職教員に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、現職教員が高等教育を受ける機会を拡大するための措置を行います。

教育委員会から推薦される現職教員においては、1年次は在職校における勤務を離れて大学院での学業に

専念し、2年次は在職校に勤務しながら残りの単位を修得するとともに、研究成果報告書作成のための指導を受けることになります。

14 長期履修学生制度について

本専攻には長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な大学院生が、標準修業年限を超えて一定の期間（3年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された履修期間で除した金額となります。

入学手続きの際に必要な書類を送付しますが、希望者はあらかじめ、指導教員等に相談してください。

15 現職教員学生の負担軽減措置

教職に関わる実務経験を有する者については、入学後の審査委員会で審議した上で、その教職経験歴等に基づき、実習科目の一部（上限5単位）を免除することができます。また、鹿児島県教育委員会の推薦により入学した現職教員学生については、実習免除が決定した現職教員学生のうち学長が認めた者は、2年次の授業料が半額免除となります。

16 平成30年度 入学試験実施状況(第1次, 第2次合計)

| | 募集人員 | 志願者 | 合格者 | 入学者 |
|-------------|------|-----|-----|-----|
| 学校教育実践高度化専攻 | 16 | 19 | 17 | 16 |

17 入試情報開示

学力試験問題の開示

学力試験科目の問題を、教育学部教務係で開示しています。(過去2年分)

学力試験問題の正解・解答例の開示

合格者発表後、「正解・解答例」を教育学部教務係で開示します。

なお、次の点に留意してください。

- 1 正解・解答例については、「例示」であり、複数の正解・解答があり得ます。
- 2 正解・解答例に代えて、出題意図を開示する場合もあります。

入学者選抜試験個人成績の開示

平成31年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

【1】開示内容

試験成績

学力試験の個々の科目の得点及び合計得点を開示します。

【2】開示期間 平成30年12月3日(月)～平成31年1月31日(木) 9時～17時

ただし、土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除きます。

【3】請求者 受験者本人に限ります。(代理人による請求は認められません)

【4】開示方法

- (1) 教育学部教務係で開示します。開示請求を行う者は、次の①及び②を必ず持参してください。

- ① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)
- ② 平成31年度鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻(専門職学位課程)受験票

- (2) 郵送により開示請求を行う者は、次の①～③を取り揃えて、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書きし、必ず書留郵便で請求してください。

ただし、開示期間中の消印のあるものだけに限り受け付けます。

- ① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)
- ② 平成31年度鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻(専門職学位課程)受験票
- ③ 返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留料金を含めた392円分の切手を貼付し、自分の宛先を明記したもの)

- (3) 請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号
鹿児島大学教育学部教務係

【5】その他

平成30年度以前の個人成績は開示しません。

A4用紙

入試情報開示請求書

平成 年 月 日

鹿児島大学教育学研究科長 殿

請求者 住所
氏名
電話
受験番号

私の入試成績について、入試情報の開示を請求します。

18 授業科目一覧（平成 31 年度予定）

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | | 単位数 | |
|----------|--|---------------------|--------|----|
| | | | 必修 | 選択 |
| 共通科目 | 【教育課程の編成・実施に関する領域】 学校を基盤とするカリキュラム開発 特色ある教育課程とそのデザイン | | 2 2 | |
| | 【教科等の実践的な指導方法に関する領域】 授業研究の実践と課題 教材研究，指導方法，評価に関する実践的課題とその改善 | | 2 2 | |
| | 【生徒指導・教育相談に関する領域】 学校における生徒指導の実践と課題 教育相談の方法と実践 | | 2 2 | |
| | 【学級・学校経営に関する領域】 学級経営の実践と課題 自律的学校経営の理論と実践 | | 2 2 | |
| | 【学校教育と教員のあり方に関する領域】 学校教育の役割と教師の成長 鹿児島における学校教育と教員のあり方 | | 2 2 | |
| | 小計（10 科目） | | 20 | |
| | | | | |
| 実習科目 | 高度化実践実習Ⅰ | | 2 | |
| | 高度化実践実習Ⅱ | | 2 | |
| | 重点領域実践実習Ⅰ | | 1 | |
| | 重点領域実践実習Ⅱ | | 1 | |
| | 開発実践実習Ⅰ | | 2 | |
| | 開発実践実習Ⅱ | | 4 | |
| | 小計（6 科目） | | 12 | |
| 課題研究科目 | 学校教育におけるデータ分析とその活用 | | 1 | |
| | 教職課題研究Ⅰ | | 3 | |
| | 教職課題研究Ⅱ | | 3 | |
| | 小計（3 科目） | | 7 | |
| 選択科目 | 組織経営分野 | 学校安全と危機管理 | | 2 |
| | | グループダイナミックスからみた学級経営 | | 2 |
| | | 学校づくりと教師 | | 2 |
| | | 校内研修のデザインとマネジメント | | 2 |
| | | 学校経営と組織マネジメント | | 2 |
| | | 小計（5 科目） | | 10 |
| | 学校研究分野 | 子どもと教師の心の健康マネジメント | | 2 |
| | | 授業研究の理論と実践 | | 2 |
| | | 学校研究の手法と実践 | | 2 |
| | | 総合的な学習のカリキュラム開発 | | 2 |
| | | 小計（4 科目） | | 8 |
| | 指導法深化分野 | ICT 活用と授業デザイン | | 2 |
| | | 人口減少社会での ICT 活用の役割 | | 2 |
| | | 道徳の授業デザイン論 | | 2 |
| | | 初等・中等教育における協働的指導法開発 | | 2 |
| | | 特別活動の理論と実践 | | 2 |
| | | 現代の教育課題に対応した指導法開発 | | 2 |
| | | 小計（6 科目） | | 12 |

【検定料振替払込受付証明書（お客さま用）】貼付用台紙

| | |
|-----------|--------------------|
| 選 抜 区 分 | 専門職学位課程 |
| 志 願 専 攻 | 教育学研究科 学校教育実践高度化専攻 |
| 志 願 者 氏 名 | |

検定料振替払込受付証明書（お客さま用）を、必ず貼付すること。

平成 31 年度
鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）
入学志願票

| | | | | | |
|----------------------|--|-----------------------------|----------------|-----|--|
| 受 験 番 号 | ※ | 受 付 期 日 | ※ 月 日 | | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 上半身、脱帽、 正面向きで 3 ヶ月以内に撮 影した写真を 貼付すること。 (4cm×3cm) </div> |
| フリガナ | | | 性 別 | | |
| 氏 名 | | | | | |
| 生 年 月 日 | 1 9 年 月 日 (満 歳) | | | | |
| 最 終 学 歴 | 国立・公立・私立（いずれかを○で囲んで下さい。） <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 大学 学部 学科 課程 </div> | | | | |
| | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 昭和 卒業 卒業見込 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 年 月 日 修了 修了見込 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 平成 退学 </div> | | | | |
| 現 住 所 | 〒 TEL () — | | | | |
| 連 絡 先 | 〒 TEL () — | | | | |
| 所有する（見込） 教員免許状の種類 | 教諭 種免許状 教科： | | 教諭 種免許状 教科： | | |
| | 教諭 種免許状 教科： | | 教諭 種免許状 教科： | | |
| 履 修 方 法 | 長期履修学生制度 *申請を予定している場合に○印（8 頁参照） | | | | |
| 現 職 等 | 1. 認定こども園 保育教諭 2. 幼稚園教諭 3. 小学校教諭 4. 中学校教諭 5. 高等学校教諭 6. 特別支援学校教諭 7. 短期大学教員 8. 民間会社 9. その他（ ） | | | | |
| | 教職歴 | 年 月 平成 31 年 4 月 1 日現在で記入 | | 勤務先 | |

（注）※印欄は、大学で記入する。

履 歴 書

| | | |
|--|-------|--------|
| 学 歴 | | 事 項 |
| | 年 月 日 | 高等学校卒業 |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| 職 歴 | | 事 項 |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| 上記のとおり相違ありません。 | | |
| 年 月 日 氏 名 | | |

(注) 学歴は高等学校卒業から記入し、大学以後については入学、卒業を記入すること。

写

平成 31 年度
鹿児島大学大学院教育学研究科
学校教育実践高度化専攻
(専門職学位課程)

写 真 票

| | |
|--|--|
| ※ 受験番号 | |
| フリガナ | |
| 氏 名 | |
| <div>上半身、脱帽、 正面向きで 3 ヶ月以内に撮 影した写真を 貼付すること。 (4cm×3cm)</div> | |

受

平成 31 年度
鹿児島大学大学院教育学研究科
学校教育実践高度化専攻
(専門職学位課程)

受 験 票

| | |
|--|--|
| ※ 受験番号 | |
| フリガナ | |
| 氏 名 | |
| <div>上半身、脱帽、 正面向きで 3 ヶ月以内に撮 影した写真を 貼付すること。 (4cm×3cm)</div> | |

(注) ※印欄は、大学で記入する。

平成 31 年度

学修計画書

鹿児島大学大学院教育学研究科
学校教育実践高度化専攻

[illegible]

(注) ※印欄は、大学で記入する。

(現職教員)

平成 31 年度

平成 年 月 日

鹿児島大学大学院教育学研究科長 殿

(所属長)

職 印

受 験 承 諾 書

下記の者が貴大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）を
受験することを承諾いたします。

記

| 職 名 | 氏 名 |
|----------------|----------------|
| | |

02

福岡

払込取扱票

通常払込料金
加入者負担

口座記号番号

01700-3-129535

金額

千：百：十：万：千：百：十：円

※

30000

料
金

備考

加入者名

国立大学法人 鹿児島大学

ご依頼人・通信欄

※

おところ・おなまえ

○学部志願者
学部名学科名
該当のいずれかに○印を付してください。
・編入学・学士入学

○大学院志願者
研究科名専攻名
該当のいずれかに○印を付してください。
・修士課程（博士前期）・博士課程（博士後期）・専門職学位課程

おところ日
おなまえ(フリガナ)附
電話番号- -印

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号福第11391号)

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号

01700-3-129535

加入者名

国立大学法人
鹿児島大学

金額

千：百：十：万：千：百：十：円

※

¥30000

ご依頼人

おなまえ

様

料
金

備考

日
附
印

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書(お客さま用)
(ご依頼人⇨郵便局・ゆうちょ銀行⇨ご依頼人)

口座
記号番号

01700-3-129535

加入者名

国立大学法人 鹿児島大学

払込金額

億：千：百：十：万：千：百：十：円

¥30000

ご依頼人
住所氏名

日
附
印

(承認番号福証第1039号)

1. この振替払込受付証明書（お客さま用）を郵便局の窓口で受け取る際は、受付局日附印を確認してください。

2. この振替払込受付証明書（お客さま用）を出願書類に同封して提出してください。

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きA T Mでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

収入印紙

課税相当額以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。

あて名シール

諸連絡用のあて先となるので、2枚とも正確に記入すること。

(切り離さないこと)

| | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|--|--|
| | | | - | | | | |
|--|--|--|---|--|--|--|--|

様

No.

(切り離さないこと)

| | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|--|--|
| | | | - | | | | |
|--|--|--|---|--|--|--|--|

(切り離さないこと)

様

No.

出願手続から合格発表までの日程

| | |
|------|--------------------------------------|
| 出願期間 | 平成 30 年 10 月 3 日（水） ～10 月 15 日（月） |
| 試験日 | 平成 30 年 10 月 27 日（土） |
| 合格発表 | 平成 30 年 11 月 9 日（金） |